備　前　市　施　策　評　価　シ　ー　ト

（平成18年度事業）

施　策　名（小項目）	広聴広報	コード	05-01-01	作成者	役職	企　画　課　長
					氏名	岩　崎　　透
					電話	６４－１８７１

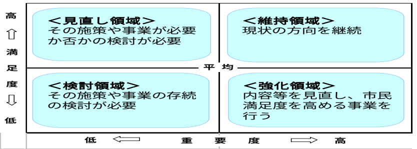
備前市総合計画の内容から記載する

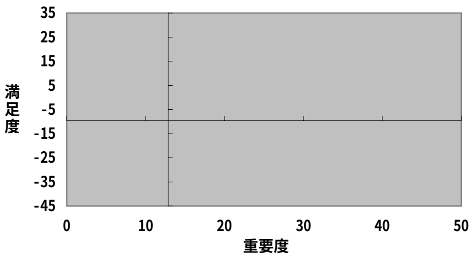
施策の体系	大項目（基本目標）	市民主体の協働のまちづくり
	中項目（基本施策）	市民主体で進めるまちづくり

① 施策の対象と目的（誰のために、何のために）	市政に対する理解と協力を得るため、市民に行政情報を的確に伝える。また、市民が市政に対し何を望んでいるかを把握して、それを市政運営に役立てる。 次に、インターネットの普及により、HPによる行政情報・観光情報の伝達を充実させ、市民だけでなく全国へ本市を発信情報発信し、備前市の活性化を図る。
② 現況と課題（総合計画から現在の問題点を抽出）	市政に対するニーズは複雑化、多様化しており、市民の要望や意見を的確に把握することが重要である。 広聴活動として、意見交換会の開催や「あなたからの意見箱」により、市民の生の声を聞き市政に反映させる必要がある。 また、市民へ行政からの情報を正確に提供する「広報びぜん」、本市を世界に発信するHPのより一層の充実が課題となっている。
③ 施策展開（総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出）	・ 広聴活動の充実 ・ 広報活動の充実 ・ パブリックコメントの制度化 ・ ・ ・ ・

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度（%）			
満足度（%）			





調査結果に対するコメント、市民の反応等（調査対象でない施策の場合は、市民の反応等）	「広報びぜん」を読んでいる市民の割合が、昨年のアンケートでは83.7%であったものが今年度は83.3%とわずかではあるが下がっている。活字離れなのか行政に無関心なのかわからないが、購読者を増やし、市政に参画する市民を増やす必要がある。

⑤　施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

	施策に対する成果指標名		単位	評価年度 H17	評価年度 H18		目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1	「広報びぜん」を読んでいる市民の割合	目標	%	85.0	85.0		85.0	85.0		広報誌を充実させ、購読する市民を増やす
		実績	%	83.7	83.3					
		達成率	%	98.5	98.0					
2	HPアクセス件数	目標	件	1,200,000	1,250,000		1,700,000	1,800,000		アクセス件数を増やし、本市を世界に情報発信する
		実績	件	1,183,000	1,594,398					
		達成率	%	98.6	127.6					
3	「広報びぜん」広告件数	目標	社	－	5		8	10		広告件数が多いと、印刷費の一般財源が少なくて済む
		実績	社	－	5					
		達成率	%	－	100.0					
4		目標								
		実績								
		達成率	%							

⑥　施策構成事務事業の評価

担　当　課　長　評　価

	施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A ～ E（高 ～ 低）	細事業一覧表	事業分類	H17 直接事業費	H17 人件費	H18 直接事業費	H18 人件費	H19 直接事業費	H19 人件費	優先順位 ☆☆☆ ☆☆ ☆ その他
1	広聴事業	C	市政懇談会事業	ｿﾌﾄ事業	0	3,830	0	2,220			☆☆☆
			あなたからのご意見箱対応事務	ｿﾌﾄ事業	0		0	289			☆☆
			公共施設ご意見直行便対応事務	ｿﾌﾄ事業	13		12	289			☆
			メール等でのご意見対応事務	ｿﾌﾄ事業	0		0	386			☆☆
2	相談事業	C	合同相談事業（備前）	ｿﾌﾄ事業	30	2,935	28	2,009			☆
			法律相談事業（備前）	ｿﾌﾄ事業	257		257	159			☆☆☆
			東備法律相談センター運営負担金事務	ｿﾌﾄ事業	150		150	0			☆☆
			合同相談事業（日生）	ｿﾌﾄ事業			0	398			☆
			法律相談事業（日生）	ｿﾌﾄ事業			0	443			☆☆☆
3	施設見学会事業	C	マイタウンマイクロバス運営事業	ｿﾌﾄ事業	0	1,570	0	708			☆
4	広報びぜん発行事業	C	広報びぜん発行事業	ｿﾌﾄ事業	11,610	8,581	11,524	7,000			☆☆☆
			広報配布事業(自治会連絡費・配布手数料)	ｿﾌﾄ事業	6,084		6,090	0			☆☆
			日本広報協会負担金事務	ｿﾌﾄ事業	24		24	0			☆
			中国海事広報協会負担金事務	ｿﾌﾄ事業	20						
			広報びぜん発行事業（日生）	ｿﾌﾄ事業			0	1,374			☆☆☆
			広報びぜん発行事業（吉永）	ｿﾌﾄ事業			0	950			☆☆☆
5	ホームページ作成事業	C	ホームページコンテンツ作成事務	ｿﾌﾄ事業	0	1,580	0	1,708			☆☆
6	市勢要覧作成事業	C	市勢要覧作成事業	ｿﾌﾄ事業			3,980	2,612			H18完了
7	くらしの便利帳作成事業	D	くらしの便利帳作成事業	ｿﾌﾄ事業	0	2,700	1,880	2,635			H18完了
8	パブリックコメント制度進事業	C	パブリックコメント制度推進事務	内部管理				635			☆☆

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H17	H18	H19
	39,384	47,760	

⑦　⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	そ　の　説　明
市	パブリックコメント	H19年度後半から実施予定

⑧　施策の評価

５：非常に高い　４：高い　３：どちらともいえない　２：低い　１：非常に低い

項　目	一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1　目的達成度	2	「広報びぜん」の誌面を充実させているが、購読率は漸減し、目標を下回っている。	2	同左
2　事業構成の適当性	4	広聴広報事業は、行政の説明責任を果たす意味からも大変重要である	3	相談事業の吉永地域が買っているので統一を進める必要がある。
3　施策の有効性	3	紙媒体の広報紙とHPによる情報提供は必要不可欠である。また、市民との意見交換会も有効である。	3	同左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		広報びぜんを読んでいる市民の割合を多くするために、写真を多用したり、市民からの投稿を載せるとか、工夫が必要。また、HPについては、アクセス数を増やすため、見やすくする工夫が必要。 市政懇談会については、自治会連絡協議会と開催方法を協議しながら、開催する。		広報びぜんの編集に写真を多用するとともに文字ポイントを上げ、より見やすくすること。また、HPについては、アクセス数を増やすため、見やすくする工夫が必要。市政懇談会については、自治会連絡協議会と開催方法を協議しながら、開催する。

二次評価者コメント 役職　企画財政部長 氏名　玉垣　和志	パブリックコメント制度の啓もうおよび有効活用を図ること。	平成20年度予算の方向性 前年度並みの配分